netWIN GSテクノロジー株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）四半期レポート（2021年9月末現在）

Goldman Sachs Asset Management

追加型投信／海外／株式

販売用資料 2021.10

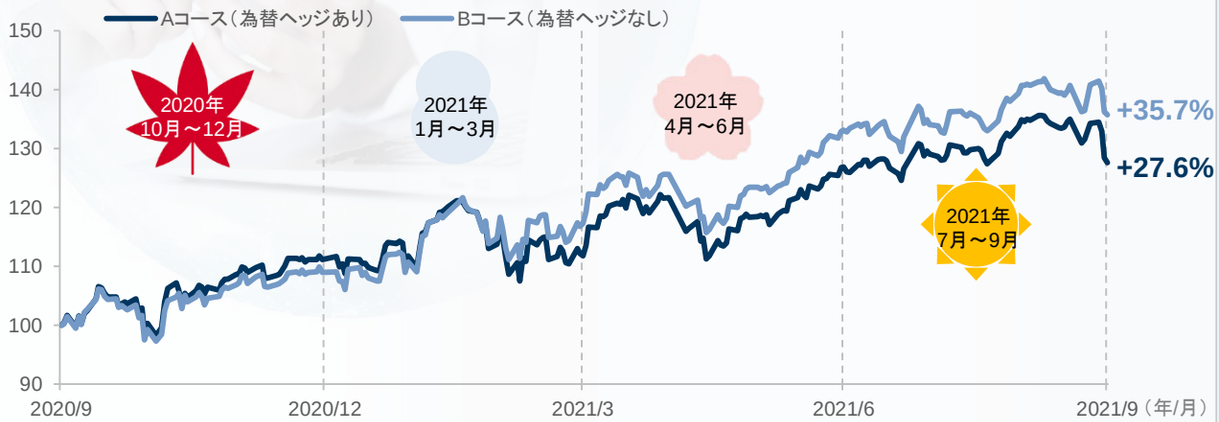
netWIN™ のポイント

netWINは、主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。
テクノロジー全体の発展を支えるプラットフォーマーなど、長期間にわたって比較的安定した業績が期待できる企業を選好しています。

直近1年間について（2020年10月～2021年9月）

netWIN 直近1年間のパフォーマンス推移

2020年9月末を100として指数化



四半期ごとの騰落率と市場環境

2020年 10月～12月
Aコース**+11.2%**
Bコース**+9.0%**

米大統領選を前に米国株式市場は軟調に推移しましたが、バイデン氏の勝利が決まると、先行き不透明感が晴れて市場は上昇しました。新型コロナウイルスのワクチン開発進展の報道が相次いだことも好材料となり、NYダウが史上初めて3万米ドルを突破するなど、市場は堅調に推移しました。

2021年 1月～3月
Aコース**+0.5%**
Bコース**+7.6%**

米バイデン政権が打ち出す1.9兆米ドル規模の追加経済対策と、ワクチン接種の進展から経済回復期待が高まり、景気敏感株式を中心に市場は上昇しました。一方、これまで大きく上昇してきたテクノロジー株式は、金利上昇に伴い上値の重い展開となりました。

2021年 4月～6月
Aコース**+13.6%**
Bコース**+13.5%**

米国でインフレの加速が懸念されるなか、金融政策の方針を決定するFOMC（米連邦公開市場委員会）後の発表から早期の利上げ観測が広がり、市場の緊張が高まりました。しかし、米バイデン政権が発表した巨額のインフラ投資計画や、良好な経済指標などが好材料となり、米国株式市場は上昇しました。

2021年 7月～9月
Aコース**+0.5%**
Bコース**+1.9%**

好調な企業決算やワクチン接種の進展を背景に市場は堅調に推移しましたが、その後、FOMCで年内のテーパリング*開始が示唆されたことや、中国の不動産開発大手の信用不安などが投資家心理を悪化させ、テクノロジー株式も上値の重い展開となりました。

*中央銀行が超金融緩和状態から抜け出す過程で採用する出口戦略の一つで、量的緩和策による資産購入額を徐々に減らしていくこと

グラフは期間：2020年9月末～2021年9月末、四半期ごとの騰落率は各期末時点。上記のパフォーマンス推移および騰落率は本ファンドの分配金再投資基準価額を使用。分配金再投資基準価額は信託報酬（詳細は、後述の「ファンドの費用」をご参照ください。）控除後のものです。分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

今四半期について（2021年7月～2021年9月）

2021年 7月～9月 パフォーマンスの変動要因・投資行動

パフォーマンスの変動要因

市場全体の動きに加えて、個別銘柄の動向も振り返ってみましょう。以下は、2021年7月～2021年9月においてマザーファンドのパフォーマンスに最もプラスに働いた銘柄3つと、最もマイナスに働いた銘柄3つです。

パフォーマンスに**プラス寄与**		パフォーマンスに**マイナス寄与**	
アトラシアン	IT技術者向けのタスク管理ソフトウェアなどを提供。リモートワークの普及などから需要が拡大しました。	ペイパル・ホールディングス	デジタル決済大手。4-6月期決算が市場予想を下回りました。
アルファベット	検索プラットフォームのグーグルやYouTubeなどで展開する広告事業が好調でした。	UiPath（ユーアイパス）	AI（人工知能）を活用した、日常業務の自動化ソフトウェアなどを提供。決算は好調ながらも物足りなさがありました。
ペイコム・ソフトウェア	人事部門でもデジタル化が求められるなか、勤怠や賃金、福利厚生を一括管理できる同社のソフトウェアが好調でした。	アクティビジョン・ブリザード	「Call of Duty」シリーズを手がけるゲーム開発企業。子会社に端を発した訴訟が嫌気されました。

主な投資行動

CRM（顧客関係管理）ソフトウェア企業のセールスフォース・ドットコムについて、ビジネス対話アプリを提供するスラックの買収がプラスになると見込んで、新規に組入れました。
一方、店舗へのクレジットカード決済の導入推進を行うグローバル・ペイメンツについては、他銘柄との相対的魅力度に鑑みて売却しました。

現在のポートフォリオは、米バイデン政権下での追加的な経済対策や新型コロナウイルスのワクチン普及による経済活動のさらなる回復が視野に入るなか、その恩恵が得られやすい銘柄の比率を高位に保ったものになっています。

2021年9月末時点 組入上位5銘柄（組入銘柄数：40銘柄）

	銘柄名	主な事業内容
1	アルファベット	検索プラットフォームのグーグルやYouTubeなどで広告事業を展開
2	マイクロソフト	クラウド・インフラ*1、Office365を始めとするソフトウェアなどを展開
3	アマゾン・ドット・コム	Eコマース*2・プラットフォーム、クラウド・インフラなどを展開
4	フェイスブック	フェイスブック、インスタグラムを運営し、広告事業を展開。近年はVR（仮想現実）にも注力
5	ペイパル・ホールディングス	デジタル決済事業を展開

*1 インターネット経由のオンデマンドでITインフラを利用できるサービス
*2 電子商取引

今後の見通し

現在、世界中で経済回復の本格化が進んでいます。企業の経営環境も改善に向かっており、回復から成長戦略に舵を切る局面となっています。企業が持続的に成長していくためにはテクノロジーの活用が不可欠であることから、各企業において、ITインフラのクラウド化や、業務プロセスのデジタル化のための設備投資拡大の機運は一層高まっていくと想定されます。また、消費の拡大を捉えるべく、企業によるデジタル広告支出の拡大が見込まれる環境にもなっています。こうした技術やサービスを提供するテクノロジー企業については需要の拡大から恩恵を受け、一層の業績改善と、それを受けた株価の上昇が期待できると考えます。
その一方で、足元では金利上昇への懸念も聞かれており、この懸念は実際に、2021年初来のテクノロジー株式への重石となってきました。しかしnetWINでは、一時的な調整を収益機会と捉え、確信度が高くかつ割安になった銘柄は積極的に積み増す方針を取っています。現在、テクノロジーがさまざまな産業と結びつき、イノベーションが生まれていますが、潜在的な成長力に鑑みると今はまだ序章に過ぎず、今後の中長期的な成長の波を捉えることが重要となってくると考えられます。

出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント　過去のデータは将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。ポートフォリオにおける保有銘柄あるいは過去の投資判断についての言及は、本資料でご紹介している投資戦略あるいは投資アプローチをご理解いただくための例示を目的とするものであり、投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。例示された個別証券は、必ずしも現在あるいは将来の保有銘柄であるとは限らず、また当該投資戦略に関する投資判断を代表するものでもありません。市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

netWIN™の特色

ファンドの特色

1. 主にテクノロジーの発展により恩恵を受ける米国企業の株式に投資します。
2. 「よりよい投資収益は、長期にわたって成長性の高い事業へ投資することにより獲得される」との投資哲学のもと、個別銘柄の分析を重視したボトムアップ手法により銘柄選択を行います。
3. Aコース（為替ヘッジあり）、Bコース（為替ヘッジなし）の選択が可能です。

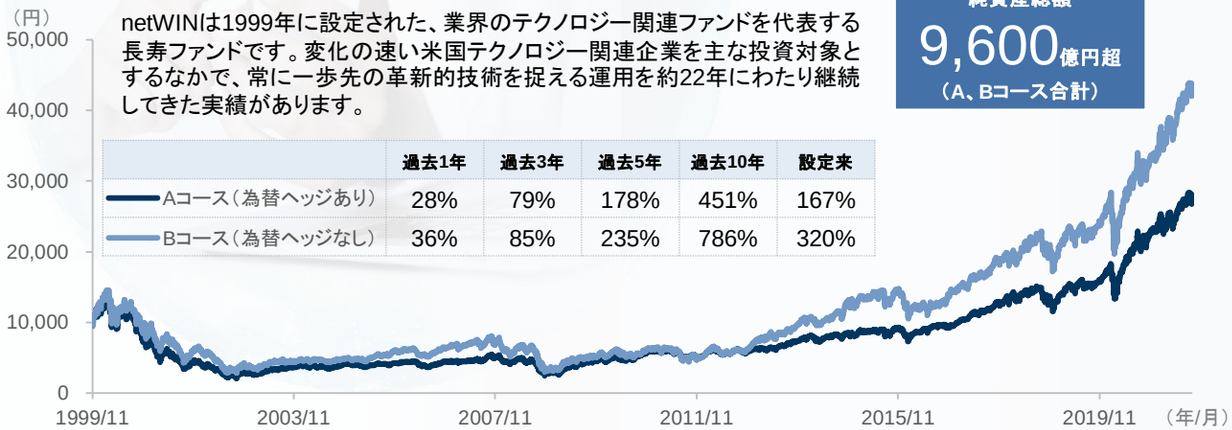
Aコースは、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。なお、為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。
Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

設定来のパフォーマンス（分配金再投資基準価額の推移と期間別騰落率）

netWINは1999年に設定された、業界のテクノロジー関連ファンドを代表する長寿ファンドです。変化の速い米国テクノロジー関連企業を主な投資対象とするなかで、常に一歩先の革新的技術を捉える運用を約22年にわたり継続してきた実績があります。

2021年9月末時点 純資産総額
9,600億円超
（A、Bコース合計）

	過去1年	過去3年	過去5年	過去10年	設定来
Aコース（為替ヘッジあり）	28%	79%	178%	451%	167%
Bコース（為替ヘッジなし）	36%	85%	235%	786%	320%



期間：1999年11月29日（設定日）～2021年9月末、期間別騰落率は2021年9月末時点、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記の分配金再投資基準価額および騰落率は信託報酬（詳細は、後述の「ファンドの費用」をご参照ください。）控除後のものです。分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

追記

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書（交付目論見書）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。■本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。■個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。■弊社及びゴールドマン・サックス・グループで投資運用業務を行う関係法人を総称して「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」あるいは「GSAM」と呼ぶことがあります。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。■本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

© 2021 Goldman Sachs. All rights reserved.　<257690-OTU-1500435>

本ファンドは、「GS フューチャー・テクノロジー・リーダーズ Aコース（限定為替ヘッジ）／Bコース（為替ヘッジなし）／Cコース（毎月決算・分配条件提示型・限定為替ヘッジ）／Dコース（毎月決算・分配条件提示型・為替ヘッジなし）」（愛称：nextWIN）とは別のファンドであり、投資対象等が異なります。また、本ファンドと同じ名称の外国投資信託とも別のファンドです。ファンドの性格をよくご理解いただいたうえでご投資ください。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。「投資信託説明書（交付目論見書）」は販売会社までご請求ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書（交付目論見書）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

マネックス証券

商号等　マネックス証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第165号
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

■ 設定・運用は

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

商号等　ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第325号
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

netWIN GSテクノロジー株式ファンド　Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

▶ 投資リスク

Connect THE FUTURE netWIN™

▶ 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。本ファンドの基準価額の変動要因としては、主に株式投資リスク（価格変動リスク・信用リスク）・集中投資リスク、為替変動リスクなどがあります。
くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

▶ netWIN お申込みメモ

Connect THE FUTURE netWIN™

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

▶ お申込みメモ

購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日（以下「ニューヨークの休業日」といいます。）
申込締切時間	「ニューヨークの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで
信託期間	原則として無期限（設定日：1999年11月29日）
繰上償還	各コースについて受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年5月30日および11月30日（ただし、休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	各コースについて1兆円を上限とします。
スイッチング	販売会社によっては各コース間でスイッチングが可能です。 ※スイッチングの際には換金時と同様に税金をご負担いただきます。くわしくは販売会社までお問い合わせください。
課税関係（個人の場合）	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は少額投資非課税制度（NISA）の適用対象です。配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の譲渡益が課税の対象となります。

▶ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に、3.3%（税抜3%）を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	なし
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対して年率2.09%（税抜1.9%） ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
信託事務の諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.05%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

▶ 委託会社その他関係法人の概要について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（委託会社）
信託財産の運用の指図等を行います。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（投資顧問会社）
委託会社より株式（その指数先物を含みます。）の運用の指図に関する権限の委託を受けて、投資判断・発注等を行います。

三菱UFJ信託銀行株式会社（受託会社）
信託財産の保管・管理等を行います。

販売会社
本ファンドの販売業務等を行います。
販売会社については下記照会先までお問い合わせください。

照会先
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
ホームページアドレス
www.gsam.co.jp
電話番号
03-6437-6000
受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※収益分配金に関わる留意点
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。